

日本人若年女性が抱く女性美の探索的調査 (2)

——女性美の構成要素——ⁱ

An Exploratory Research on Standards of Women's
Beauty among Japanese Young Ladies-Part 2
——Components of Beauty Concepts——

山田 雅子

YAMADA Masako

日本人若年女性が抱く女性美の探索的調査 (2)

——女性美の構成要素——ⁱ

An Exploratory Research on Standards of Women's Beauty among Japanese Young Ladies-Part 2

——Components of Beauty Concepts——

山田 雅子

YAMADA Masako

要旨:日本人女性273名（一般女性および女子短期大学生）を対象とし、女性美に関する探索的調査を行った。先行研究に基づく30項目について、「美人」「美しい」と女性に対して評価する際の重視度を集計した結果、24項目において評価語間の有意な差異が見られ、20代前半までの一般女性（18～24歳）、20代後半の一般女性（25～29歳）、女子短期大学生の3群の間でも若干の違いが確認された。更に、因子分析の結果として〈快活さ〉〈品格〉〈美貌〉〈清潔感〉の4因子が抽出された。特に〈快活さ〉因子に対して女子短期大学生の因子得点が一般女性（18～24歳）の群よりも有意に高く、年齢以上に生活環境や立場による影響が捉えられた。

キーワード: 美しさ, 美, 女性, 基準, 因子

1. はじめに

「女性美」という言葉は存在するが、確固たる基準が存在するわけではない。それぞれの個人が抱く基準が日常に機能し、おぼろげなものながら、その時代の、その地域の、そしてその人個人の概念が形成されていく。そうした概念のかたちを、2016年（平成28年）に生きる日本人女性について取り出そうというのが本研究の目的である。

i 本稿は日本社会心理学会第58回大会において発表した内容を含む（山田, 2017）。なお、因子名等一部再検討し、当該発表内容とは表現を違えているところもある。

前報（山田, 2018）においては、美人像、美しい女性像として挙げられる有名人や美しいという言葉の捉えられ方、「美しくある」「美しくなる」ために各個人が取り組んでいることから、女性美の一端を探ろうと試みた。結果、「美人」、「美しい」人物として北川景子氏が最も多く挙げられる一方、「美人」と「美しい」という場合とで回答される人物に若干の違いも捉えられた。また、「美しい」という言葉は、「魅力的」に続いて特別感が高いと受け止められていながら、言われた褒め言葉としては選ばれない傾向も顕著に見られた。更に、「美しくある」「美しくなる」ために対象者自身が行っていることとしては、スキンケアや基礎化粧品、栄養バランスの管理、運動・スポーツが多く回答され、行為の先に健康状態の向上・増進があることが共通点として見出された。少なくとも、対人的評価でなく、対自的場面や対象者自身という範囲内では、美と健康との繋がり、或いは両者の方向性の一致が非常に顕著に捉えられたと言える。

本稿では特に30項目に対する重視度評価結果について詳述し、日本人若年女性における女性美の基準に迫る。

2. 方法ⁱⁱ

2.1 対象者

日本人女性273名（平均年齢23.133歳）を対象とした。なお、前報と同様に、18～24歳までの一般女性を指す「一般女性18-24」、25～29歳までの一般女性を指す「一般女性25-29」、関東在住の女子短期大学生を指す「女子短期大学生」の3群に分け、各群間の比較を行うこととする。各群の構成は下記の通りである。

・一般女性18-24	18～24歳	134名（平均年齢21.045歳）
・一般女性25-29	25～29歳	77名（平均年齢26.766歳）
・女子短期大学生	18～20歳	62名（平均年齢18.887歳）

2.2 調査時期

・一般女性	2016年7月
・女子短期大学生	2016年9月

ii 本稿において取り上げる内容は第38号のPart 1掲載の調査の一部であり、同一の対象者に対し、同一の時期に行われたものである。

2.3 調査内容ⁱⁱⁱ

各対象者に調査用紙を配付し、下記内容について回答を求めた。なお、以下は実際の調査用紙上の教示であり、括弧内は回答方法の詳細である。

- 1) あなたが美人だと思う女性有名人を2人挙げてください。※次の2の回答と重複しても構いません。(2件自由回答)
- 2) あなたが美しいと思う女性有名人を2人挙げてください。※前の1の回答と重複しても構いません。(2件自由回答)
- 3) あなたがある女性を「美人」と言う場合、外見と内面のどちらを重視しますか。(外見／内面よりそれぞれ一者選択)
- 4) あなたがある女性を「美しい」と言う場合、外見と内面のどちらを重視しますか。(外見／内面よりそれぞれ一者選択)
- 5) あなたが次の言葉を女性に対して用いるとき、特別感が高いものから順に①～⑤の番号をご記入ください。また、あなた自身が最も言われたい言葉を1つ選び、番号でお答えください。
(①魅力的／②かわいい／③美しい／④素敵／⑤きれいより、特別感については第1位から第3位まで並べ替え、最も言われたい言葉は一者選択)
- 6) 「美しくある」ために、あるいは「美しくなる」ために、あなたが現在していることを3つ挙げてください。(3件自由回答)
- 7) あなたがある女性を「美人」あるいは「美しい」と言う場合、次の要素をどの程度重視しますか。それぞれについて、当てはまる箇所に○をつけてください。(30項目4件法)

3. 結果および考察

3.1 「美人」「美しい」表現における各要素の重視度

ある女性を「美人」あるいは「美しい」と表現する際の各要素の重視度の回答に対し、「全く重視しない」を1、「あまり重視しない」を2、「やや重視する」を3、「非常に重視する」を4として数値化した結果、次のFigure 1-1およびFigure 1-2が得られた。なお、本調査で用いた30項目は、先行研究(山田, 2007, 2009, 2013, 2014, 2015)および予備調査の結果に基づき、

iii 1)～6)に関する結果はPart 1において取り上げた。本稿では7)についてのみ報告する。

「美人」や「美しい」と表現する際に重視される要素の中から選定されたものである。

「美人」との評価における重視度を示すFigure 1-1においては、「重視する」「重視しない」という評定の境界にあたる2.5ポイントを下回る項目の存在を若干確認できる。一方の「美しい」という評価に対する結果を示すFigure 1-2では全群・全項目において境界の2.5を越えており、「美しい」と評価する場合の方がより高い水準で各要素を求める傾向にあることが概観できる。

30項目および全項目の重視度合計について、対象者のカテゴリと評価語を要因とした 3×2 の分散分析を行った結果、2要因の交互作用はいずれにおいても有意ではなかった。一方、対象者

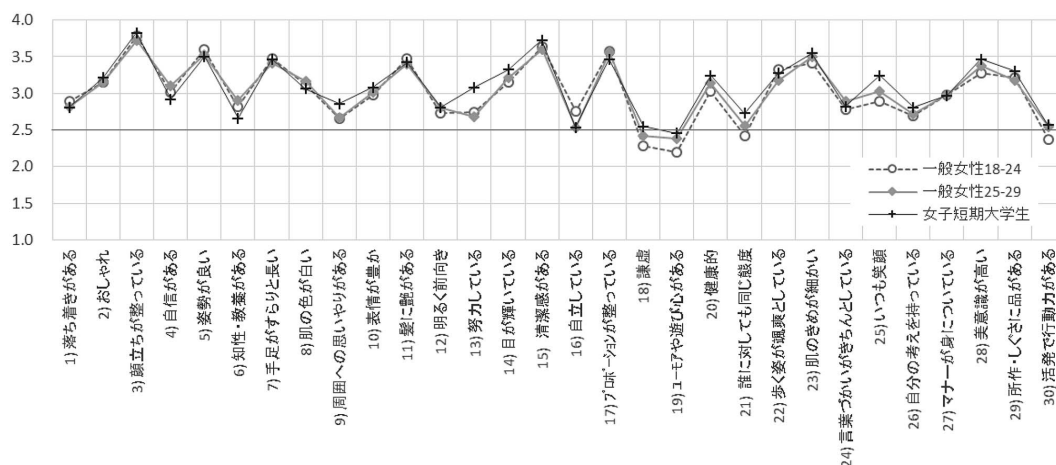


Figure 1-1 「美人」評価における各項目の重視度

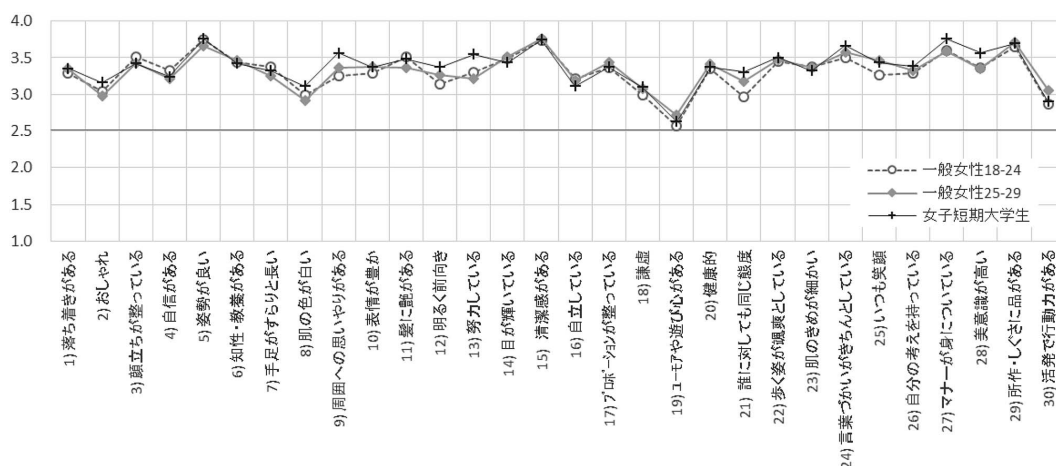


Figure 1-2 「美しい」評価における各項目の重視度

カテゴリの主効果は、「努力している」「誰に対しても同じ態度」が1%水準、「周囲への思いやりがある」「いつも笑顔」が5%水準において有意、「美意識が高い」が10%水準において有意傾向であった。多重比較検定の結果、主効果が有意であるとされた4項目において、「美人」「美しい」の一方もしくは両方で一般女性18-24と女子短期大学生との間に有意或いは有意傾向の差が確認された。両カテゴリは年齢の面で類似する2群ながら、差異が際立っていたと言える。

Table 1-1 「美人」評価における各群・各項目の重視度（重視度順各群並べ替え）

順位	一般女性18-24	順位	一般女性25-29	順位	女子短期大学生
1	3) 顔立ちが整っている 3.791	1	3) 顔立ちが整っている 3.727	1	3) 顔立ちが整っている 3.823
2	15) 清潔感がある 3.634	2	15) 清潔感がある 3.597	2	15) 清潔感がある 3.726
3	5) 姿勢が良い 3.597	3	17) プロポーションが整っている 3.558	3	23) 肌のきめが細かい 3.548
4	17) プロポーションが整っている 3.575	4	5) 姿勢が良い 3.519	4	5) 姿勢が良い 3.500
5	7) 手足がすらりと長い 3.478	5	23) 肌のきめが細かい 3.494	5	7) 手足がすらりと長い 3.468
5	11) 髪に艶がある 3.478	6	7) 手足がすらりと長い 3.416	5	17) プロポーションが整っている 3.468
7	23) 肌のきめが細かい 3.418	7	11) 髪に艶がある 3.403	5	28) 美意識が高い 3.468
8	22) 歩く姿が颯爽としている 3.321	8	28) 美意識が高い 3.377	8	11) 髪に艶がある 3.419
9	28) 美意識が高い 3.276	9	14) 目が輝いている 3.208	9	14) 目が輝いている 3.323
10	29) 所作・しぐさに品がある 3.216	10	22) 歩く姿が颯爽としている 3.182	10	29) 所作・しぐさに品がある 3.306
11	14) 目が輝いている 3.157	10	29) 所作・しぐさに品がある 3.182	11	22) 歩く姿が颯爽としている 3.274
12	2) おしゃれ 3.149	12	8) 肌の色が白い 3.169	12	20) 健康的 3.242
13	8) 肌の色が白い 3.112	13	2) おしゃれ 3.156	12	25) いつも笑顔 3.242
14	20) 健康的 3.022	14	20) 健康的 3.143	14	2) おしゃれ 3.210
15	4) 自信がある 3.015	15	4) 自信がある 3.104	15	10) 表情が豊か 3.081
16	10) 表情が豊か 2.978	16	25) いつも笑顔 3.026	15	13) 努力している 3.081
16	27) マナーが身についている 2.978	17	10) 表情が豊か 3.013	17	8) 肌の色が白い 3.065
18	25) いつも笑顔 2.896	18	27) マナーが身についている 2.974	18	27) マナーが身についている 2.968
19	1) 落ち着きがある 2.888	19	6) 知性・教養がある 2.909	19	4) 自信がある 2.919
20	6) 知性・教養がある 2.813	20	24) 言葉づかいがきちんとしている 2.896	20	9) 周囲への思いやりがある 2.855
21	24) 言葉づかいがきちんとしている 2.784	21	1) 落ち着きがある 2.818	21	24) 言葉づかいがきちんとしている 2.823
22	16) 自立している 2.754	22	12) 明るく前向き 2.805	22	1) 落ち着きがある 2.806
23	13) 努力している 2.737	23	26) 自分の考えを持っている 2.714	22	12) 明るく前向き 2.806
24	12) 明るく前向き 2.731	24	13) 努力している 2.675	22	26) 自分の考えを持っている 2.806
25	26) 自分の考えを持っている 2.694	25	9) 周囲への思いやりがある 2.662	25	21) 誰に対しても同じ態度 2.726
26	9) 周囲への思いやりがある 2.649	26	21) 誰に対しても同じ態度 2.558	26	6) 知性・教養がある 2.661
27	21) 誰に対しても同じ態度 2.414	27	30) 活発で行動力がある 2.545	27	30) 活発で行動力がある 2.565
28	30) 活発で行動力がある 2.366	28	16) 自立している 2.532	28	18) 謙虚 2.548
29	18) 謙虚 2.284	29	18) 謙虚 2.416	29	16) 自立している 2.532
30	19) ユーモアや遊び心がある 2.201	30	19) ユーモアや遊び心がある 2.377	30	19) ユーモアや遊び心がある 2.452
	TOTAL 90.366		TOTAL 91.156		TOTAL 92.710

Table 1-2 「美しい」評価における各群・各項目の重視度（重視度順各群並べ替え）

順位	一般女性18-24	順位	一般女性25-29	順位	女子短期大学生
1	5) 姿勢が良い 3.752	1	15) 清潔感がある 3.766	1	5) 姿勢が良い 3.758
2	15) 清潔感がある 3.731	2	29) 所作・しぐさに品がある 3.714	1	27) マナーが身についている 3.758
3	29) 所作・しぐさに品がある 3.649	3	5) 姿勢が良い 3.658	3	15) 清潔感がある 3.742
4	27) マナーが身についている 3.604	4	27) マナーが身についている 3.584	4	29) 所作・しぐさに品がある 3.694
5	3) 顔立ちが整っている 3.507	5	24) 言葉づかいがきちんとしている 3.571	5	24) 言葉づかいがきちんとしている 3.661
5	11) 髪に艶がある 3.507	6	14) 目が輝いている 3.506	6	9) 周囲への思いやりがある 3.565
7	24) 言葉づかいがきちんとしている 3.500	7	22) 歩く姿が颯爽としている 3.481	6	28) 美意識が高い 3.565
8	14) 目が輝いている 3.485	8	6) 知性・教養がある 3.468	8	13) 努力している 3.548
9	22) 歩く姿が颯爽としている 3.455	8	25) いつも笑顔 3.468	9	22) 歩く姿が颯爽としている 3.500
10	6) 知性・教養がある 3.440	10	17) プロポーションが整っている 3.442	10	11) 髪に艶がある 3.484
11	7) 手足がすらりと長い 3.381	11	3) 顔立ちが整っている 3.421	11	14) 目が輝いている 3.435
12	23) 肌のきめが細かい 3.373	12	20) 健康的 3.416	11	25) いつも笑顔 3.435
13	17) プロポーションが整っている 3.358	13	10) 表情が豊か 3.377	13	3) 顔立ちが整っている 3.419
13	28) 美意識が高い 3.358	14	9) 周囲への思いやりがある 3.364	13	6) 知性・教養がある 3.419
15	20) 健康的 3.351	14	11) 髪に艶がある 3.364	15	26) 自分の考えを持っている 3.387
16	4) 自信がある 3.328	14	23) 肌のきめが細かい 3.364	16	10) 表情が豊か 3.371
17	13) 努力している 3.299	17	1) 落ち着きがある 3.351	16	12) 明るく前向き 3.371
18	1) 落ち着きがある 3.284	17	28) 美意識が高い 3.351	16	17) プロポーションが整っている 3.371
18	10) 表情が豊か 3.284	19	26) 自分の考えを持っている 3.325	16	20) 健康的 3.371
18	26) 自分の考えを持っている 3.284	20	12) 明るく前向き 3.260	20	1) 落ち着きがある 3.355
21	25) いつも笑顔 3.261	21	7) 手足がすらりと長い 3.247	21	7) 手足がすらりと長い 3.323
22	9) 周囲への思いやりがある 3.246	22	4) 自信がある 3.211	21	23) 肌のきめが細かい 3.323
23	16) 自立している 3.209	23	13) 努力している 3.208	23	21) 誰に対しても同じ態度 3.306
24	12) 明るく前向き 3.134	24	16) 自立している 3.195	24	4) 自信がある 3.242
25	2) おしゃれ 3.038	25	21) 誰に対しても同じ態度 3.182	25	2) おしゃれ 3.161
26	8) 肌の色が白い 2.993	26	18) 謙虚 3.078	26	8) 肌の色が白い 3.113
26	18) 謙虚 2.993	27	30) 活発で行動力がある 3.052	26	16) 自立している 3.113
28	21) 誰に対しても同じ態度 2.963	28	2) おしゃれ 2.974	28	18) 謙虚 3.097
29	30) 活発で行動力がある 2.866	29	8) 肌の色が白い 2.921	29	30) 活発で行動力がある 2.903
30	19) ユーモアや遊び心がある 2.567	30	19) ユーモアや遊び心がある 2.714	30	19) ユーモアや遊び心がある 2.629
	TOTAL 99.149		TOTAL 99.857		TOTAL 101.419

また、評価語の主効果は「おしゃれ」「肌の色が白い」「髪に艶がある」「美意識が高い」を除く24項目と合計において有意もしくは有意傾向であった。項目の大半において「美人」と「美しい」という評価語による差異が認められたことになるが、「美人」の方が「美しい」を上回る重視度を示したのは「顔立ちが整っている」「手足がすらりと長い」「プロポーションが整っている」「肌のきめが細かい」の4項目のみであった。残る20項目と合計では、「美人」よりも「美

しい」において重視される度合いが一層強かったと言える。逆に、「美人」においてより強い重視度が示された4項目はいずれも外見的要素を含むものである。先行研究（山田, 2009, 2013, 2014）が示すように、「美人」は外見重視、「美しい」という表現の場合にはより内面に注目が集まることが本結果においても安定的に確認できたと言えよう。

更に、各群において重視度の高い順に項目を並べ替えた結果がTable 1-1およびTable 1-2である。「顔立ちが整っている」「清潔感がある」の2項目が非常に重視される点は3群共通である。だが詳細に比較すると、特に一般女性の2群と女子短期大学生との間で肌に対する記述において異なる面も捉えられる。「肌のきめが細かい」は女子短期大学生において3番目に重視される項目であるが、一般女性では、24歳までの群で7位、25歳以上の群で5位である。また、「努力している」についても女子短期大学生の重視度が高く15位、一般女性18-24群では23位、25-29群では24位まで重視度が下がっている。一方、「知性・教養がある」については、女子短期大学生における重視度の方が低く26位、一般女性18-24群では20位、25-29群では19位となっている。前述の分散分析における対象者群の主効果の傾向からも、特定の項目に対する重視度に群間差が存在することは明らかであるが、30項目の相対的な位置づけにおいても若干の違いがあることが指摘できる。

「美人」「美しい」との評価それぞれに対するスピアマンの順位相関行列は、次のTable 2-1およびTable 2-2のように導出された。いずれの間にも高い相関があるといえるが、表中の値を比較すると、年齢の違いを越えて、一般女性同士の方が順位の面でも共通性の高いことが分かる。より厳密には今後の追調査を待つ必要があるが、本結果からは、年齢よりも所属や立場によって価値観が強く左右される可能性が示唆される。

また、表間の比較からは、「美しい」よりも「美人」と表現する場合における相関の方が高いことに気付く。当該結果からは、「美人」の方が群を越えて価値観が共有されていることが推察される。前報（山田, 2018）や既往研究（山田, 2009, 2013, 2014）においては、「美人」との表現について8割以上の対象者が内面よりも外見を重視すると統一的に回答する一方、「美しい」という表現では内面と外見の選択が拮抗することが指摘されている。本研究における順位相関の違いも、外見・内面といった大きな枠組みでの重視度の回答傾向と同質のものであると考えられ、「美しい」という表現の方が「美人」よりも個人の価値観が如実に表れる表現であることも読み取れる。

Table 2-1 順位相関行列 (美人)

	一般 18-24歳	一般 25-29歳	女子 短大生
一般18-24歳	1.000	0.982	0.927
一般25-29歳	0.982	1.000	0.948
女子短大生	0.927	0.948	1.000

Table 2-2 順位相関行列 (美しい)

	一般 18-24歳	一般 25-29歳	女子 短大生
一般18-24歳	1.000	0.856	0.784
一般25-29歳	0.856	1.000	0.833
女子短大生	0.784	0.833	1.000

3.2 「美人」「美しい」表現の構成因子

重視度の評定結果を対象に因子分析（主因子法斜交プロマックス回転）を行ったところ、Table 3のような因子パターンが得られた（累積寄与率51.39%）。抽出された4因子の各構成要素の特徴を踏まえ、第1因子を〈快活さ〉、第2因子を〈品格〉、第3因子を〈美貌〉、第4因子を〈清潔感〉と名付けた。各因子の主な構成要素はTable 4に示す通りである（負荷量0.4以上の項

Table 3 「美人」「美しい」評価の因子パターン（主因子法斜交プロマックス回転）

	因子1 快活さ	因子2 品格	因子3 美貌	因子4 清潔感	共通性
25) いつも笑顔	0.808	-0.117	-0.012	0.173	0.631
10) 表情が豊か	0.726	-0.078	-0.039	0.136	0.519
19) ユーモアや遊び心がある	0.725	0.061	0.044	-0.239	0.542
12) 明るく前向き	0.715	0.096	-0.031	0.083	0.649
30) 活発で行動力がある	0.637	0.134	-0.012	-0.075	0.511
13) 努力している	0.630	0.166	-0.017	0.094	0.606
14) 目が輝いている	0.621	-0.109	0.106	0.261	0.481
20) 健康的	0.593	-0.055	0.096	0.150	0.399
21) 誰に対しても同じ態度	0.577	0.373	0.024	-0.189	0.690
4) 自信がある	0.319	0.060	0.004	0.257	0.247
24) 言葉づかいがきちんとしている	0.058	0.754	-0.009	0.092	0.675
27) マナーが身につけている	0.031	0.720	-0.039	0.217	0.674
6) 知性・教養がある	-0.037	0.686	-0.005	0.078	0.473
1) 落ち着きがある	-0.099	0.580	0.037	0.098	0.317
26) 自分の考えを持っている	0.374	0.528	-0.064	0.020	0.680
18) 謙虚	0.343	0.526	0.011	-0.117	0.586
16) 自立している	0.245	0.525	0.066	-0.052	0.491
29) 所作・しぐさに品がある	-0.016	0.497	0.172	0.350	0.554
9) 周囲への思いやりがある	0.437	0.448	-0.088	-0.022	0.635
7) 手足がすらりと長い	-0.019	0.041	0.838	-0.071	0.656
17) プロポーションが整っている	-0.011	-0.017	0.828	-0.032	0.660
3) 顔立ちが整っている	-0.046	-0.193	0.637	0.055	0.463
23) 肌のきめが細かい	-0.060	0.028	0.630	0.151	0.512
8) 肌の色が白い	-0.062	0.042	0.587	-0.054	0.323
11) 髪に艶がある	0.088	0.003	0.517	0.262	0.487
22) 歩く姿が颯爽としている	0.102	0.224	0.361	0.207	0.386
2) おしゃれ	0.272	-0.090	0.318	0.078	0.186
15) 清潔感がある	0.099	0.141	0.194	0.518	0.522
5) 姿勢が良い	0.011	0.208	0.184	0.472	0.449
28) 美意識が高い	0.126	0.113	0.308	0.346	0.413
寄与率	32.42%	13.50%	3.65%	1.82%	
累積寄与率	32.42%	45.92%	49.57%	51.39%	

目を抜粋)。

これらの因子は、先行研究 (山田, 2015) において抽出された〈心づかい〉〈プロポーション〉〈清潔感〉〈自己の確立〉〈整った顔〉にも通ずる。〈清潔感〉因子は本研究においても共通して見出されており、〈プロポーション〉と〈整った顔〉の2因子が統合された因子が本研究における〈美貌〉であるとも解釈できる。しかし、〈心づかい〉因子に関連の深い項目は、「マナーが身についている」「誰に対しても同じ態度」「思いやりがある」「健康的」「品がある」「美しくなろうと努力している」「明るい」「笑顔が魅力的」などであり、本研究における〈快活さ〉と〈品格〉の両要素が一体となって一因子を形成しているように捉えられる (山田, 2015)。当該結果は、対象者の層が拡大したことによって内面に対する価値観の多様性が増した結果によると推察される。

Table 4 各因子名と主な構成要素

因子名	構 成 要 素
因子1 快活さ	いつも笑顔 表情が豊か ユーモアや遊び心がある 明るく前向き 活発で行動力がある 努力している 目が輝いている 健康的 自信がある 誰に対しても同じ態度 周囲への思いやりがある
因子2 品格	言葉づかいがきちんとしている マナーが身についている 知性・教養がある 落ち着きがある 自分の考えを持っている 謙虚 自立している 所作・しぐさに品がある 周囲への思いやりがある
因子3 美貌	手足がすらりと長い プロポーションが整っている 顔立ちが整っている 肌のきめが細かい 肌の色が白い 髪に艶がある
因子4 清潔感	清潔感がある 姿勢が良い

〈快活さ〉の因子負荷量を横軸、〈品格〉の負荷量を縦軸にとり、各項目をプロットした図が Figure 2である。「プロポーションが整っている」「手足がすらりと長い」などの外見的要素は原点付近に凝集しており、これらの2因子とはほぼ関係を持たないことが読み取れる。逆に負荷量の高い項目は何らかの面で人の心理面に関わる要素であり、よりポジティブでアクティブな方向であれば〈快活さ〉、対人的な高潔さや品を感じさせるものであれば〈品格〉の負荷量が高いことが指摘できる。なお、これらの2因子の累積寄与率は45.92%であり (Table 3参照)、両因子だけでも構造全体の4割以上について説明力を持つと言える。

また、因子間の相関はTable 5の通りである。〈快活さ〉と〈品格〉の相関係数は0.645と非常に高く、両因子間の繋がりが深いことが指摘できる。Table 3や先のFigure 2においても、「周囲への思いやりがある」や「誰に対しても同じ態度」など、両因子にまたがって比較的高い因子

負荷量を持つ項目のあることが確認できるが、人の心理面と関わりが深い因子同士で連関が強いと言える。また、〈美貌〉と〈清潔感〉の間でも比較的高い相関が見られ、〈清潔感〉の軸は〈快活さ〉や〈品格〉の因子が示す内面よりも、〈美貌〉が示す外見的要素と連動しやすいことが指摘できる。

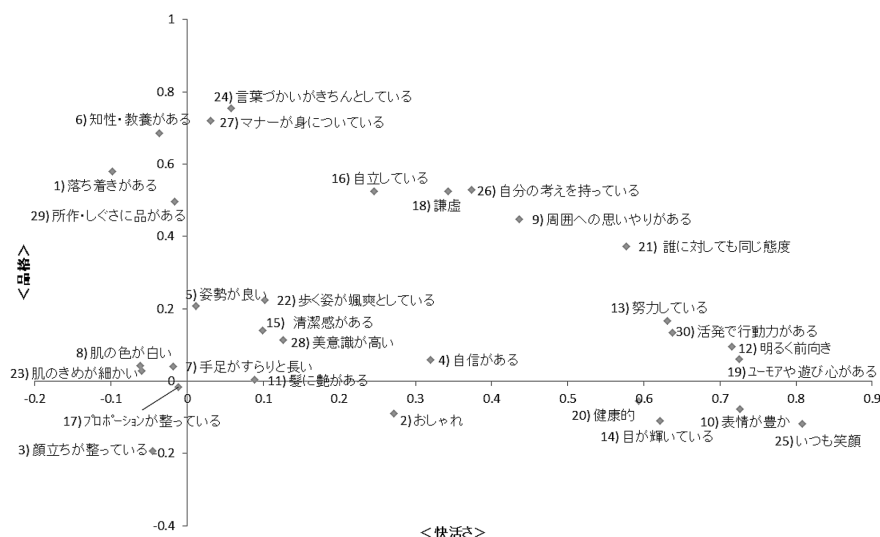


Figure 2 因子負荷量による各項目のプロット（快活さ×品格）

Table 5 因子間の相関

因子間相関	快活さ	品格	美貌	清潔感
快活さ	1.000	0.645	0.011	0.252
品格		1.000	0.085	0.275
美貌			1.000	0.477
清潔感				1.000

各群の評価語ごとの因子得点は次のFigure 3-1およびFigure 3-2の通りである。前項において行ったように、対象者のカテゴリと評価語を要因として、因子ごとに 3×2 の分散分析を行った結果、2要因の交互作用はいずれの因子においても有意でなかった。しかし、対象者カテゴリの主効果は〈快活さ〉において有意であった（5%水準）。多重比較検定の結果、一般女性18-24と女子短期大学生との間に有意差が確認された。対象者の3カテゴリの中では年齢の面で最も近い2群であるが、一方の女子短期大学生はより強く〈快活さ〉の要素を美的評価において重視し、

他方、一般女性の若年層は比較的重視しない傾向を見せたことになる。

評価語（「美人」・「美しい」）の主効果は〈快活さ〉〈品格〉〈清潔感〉の3因子において1%水準、〈美貌〉因子では5%水準において有意であった。評価語間の差異の顕著であった前者3種は「美しい」評価の方が「美人」よりも高得点、残る〈美貌〉では、逆に「美人」の方が「美しい」よりも高得点であったことを示す。当該結果を踏まえれば、外見的要素が整っていることで「美人」という評価がなされる一方、「美しい」という評価のためには、より多くの条件を満たしている必要があり、性格的な快活さや知性や品を感じさせる要素に加え、清潔感がなくてはならないことになる。

当該傾向は先行研究（山田, 2015）においても既に見出されており、「美人」評価の場合は〈整った顔〉や〈プロポーション〉のような外見に関わる因子について有意に得点が高く、逆に〈心づかい〉や〈自己の確立〉といった内面・心理面に関わる因子については「美しい」という評価において高いことが指摘されている。3.1項において言及したように、「美人」「美しい」という表現における微妙な語感の違いは安定的であり、両者の差異の特徴や心理的距離は対象者を異にしても大きく変化するものではないことが窺われる。

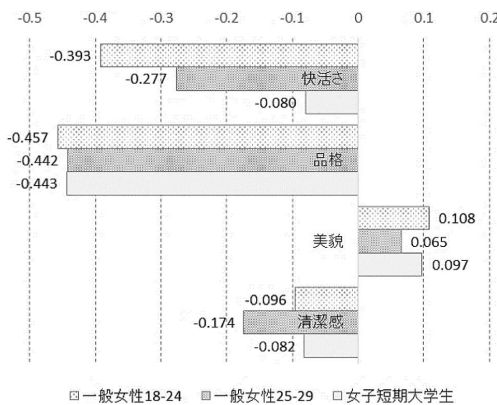


Figure 3-1 「美人」評価の因子得点

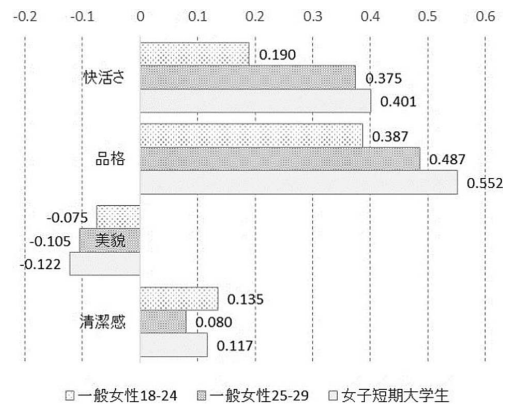


Figure 3-2 「美しい」評価の因子得点

4. 今後の課題

前報（山田, 2018）において指摘した通り、対象者の年齢以上に、所属や日々触れる情報や教育の影響が感じ取られる結果が本研究においても得られた。美しさをめぐる価値観が何によって

構成されていくのか、キーポイントとなる経験や情報源等を更に探ることが課題である。また、同一形式での調査を長期に亘って続けることで、時代性の抽出も可能となるであろう。更に、対象を男性に拡大することも取り組みたい課題の一つである。女性美は社会の価値観を映すものでもあるとも言える。同性のみならず、異性の目から見た女性美を取り出すことで、性役割等、社会の在り様をも切り取ることができる考える。

5. まとめ

日本人女性273名を対象として女性美に関する調査を行った結果、種々の分析により、次に挙げる傾向が確認された。

- ①「美人」という評価においては、「顔立ちが整っている」「清潔感がある」「姿勢が良い」等、主に視覚的に捉えられる要素が特に重視されることが分かった。
- ②「美しい」との評価においては、「姿勢が良い」「清潔感がある」「所作・しぐさに品がある」等、視覚的に捉えられる要素を含みつつ、意識の持ち方や日々の心掛けが強く作用する内容が重視されることが捉えられた。
- ③因子分析（主因子法斜交プロマックス回転）の結果、〈快活さ〉〈品格〉〈美貌〉〈清潔感〉の4因子が抽出された。
- ④〈快活さ〉〈品格〉〈清潔感〉の3因子の得点は「美人」よりも「美しい」と評価する場合に有意に高く、〈美貌〉の因子得点は、逆に「美しい」よりも「美人」と評価する場合に有意に高いことが明らかとなった。
- ⑤〈快活さ〉は女子短期大学生が重視する要素であることが判明し、年齢の近い18歳から24歳までの一般女性の群よりも有意に重視度が高いことが確認された。

謝辞

本研究は、株式会社ワコール人間科学研究所との共同研究計画の下に行われたものである。同所の岸本泰蔵氏、上家倫子氏より、研究計画から調査実施、分析に至るまで多大なるお力添えを

頂戴したことをここに記し、深く感謝申し上げます。

参考文献

- 山田雅子 「女子短大生に見る現代女性の美人観」 埼玉女子短期大学紀要, 第18号, pp. 213-226, 2007.
- 山田雅子 「現代女性の美人観における外見と内面の分析－女子短大生が抱く美しさの構造－」 埼玉女子短期大学紀要, 第20号, pp. 79-91, 2009.
- 山田雅子 「人の美しさに関わる言葉の語感の分析－若年女性における「美人」と「美しい」の使い分け－」 埼玉女子短期大学紀要, 第28号, pp. 113-123, 2013.
- 山田雅子 「外見の美しさと内面の美しさ－外見／内面の重視と美しさの捉え方の特徴－」 埼玉女子短期大学紀要, 第30号, pp. 95-108, 2014.
- 山田雅子 「日本人若年女性が抱く美的価値観の因子構造－構成要素の重視度に対するアプローチ－」 埼玉女子短期大学紀要, 第32号, pp. 61-75, 2015.
- 山田雅子 「女性美に対する日本人若年女性の価値観－10-20代の女性が捉える女性美の構造. 日本社会心理学会第58回大会発表論文集, p. 296, 2017.
- 山田雅子 「日本人若年女性が抱く女性美の探索的調査 (1) －美にまつわる人物・語感・行為－」 埼玉女子短期大学紀要, 第38号, pp. 23-36, 2018.